

協会ニュース

令和4年4月14日
中国地区品質経営協会
広島市西区横川町3丁目5番9号（世良ビル404号）
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845
e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和3年度 先進企業視察会

- ◆ 開催日時：令和4年3月18日（金）13:30～16:00
- ◆ 場 所：広島商工会議所内規格協会事務所より各会員会社にWeb配信
- ◆ 参加者：12企業・団体149名

今年度の先進企業視察会は、いち早くDXを導入し、効果を上げられているオムロン様に、DXの取り組み背景及び課題解決策を交えた講演と現場での実際の導入事例などを交えて、工場サイドの方とのディスカッションをオンラインで実施して頂きました。

オムロン様からは、DX導入時の実際の悩みや課題解決に向けた苦労話など現場の生の声を聴くことができ、参加された方々からも『大変参考になった』との声も頂き、満足度の非常に高いものとなりました。

第1部の講演では、オムロン株式会社 インキュベーションセンター SDTM 事業推進部の河野 智樹様より『現場主導のIT活用による持続的な労働生産性の向上：「学び」で成果につなげる現場DXのあるべき姿と効果的な推進策』について、DXの取り組みの背景から振り返りと今各企業が置かれている状況として、生産性向上や働き方改革に加えて、事業継続力強化の観点から、今後、デジタル化の重要性が急速に高まる中、デジタル企業への変革の課題、その解決策として、変化に適応し成長するために、「自分でつくる」現場として、身近な現場課題を現場担当者自らが解決する手法として、プログラミング言語を利用せずに開発する手法（ノーコード開発）の紹介を分かり易く説明頂き、DX運用で課題を抱える企業にとって、大変参考になる講演でした。

第2部のディスカッションでは、河野 智樹様に加えてインキュベーションセンター SDTM 事業推進部の今江様、オムロンリレーアンドデバイス(株) 産機リレ工場で実際にDX導入を担当された岩田様、富岡様を交えて、手書き帳票、手動でのデータ集計作業など、人が行わなくても良い業務を如何にデジタル化し実現してきたかについて、体験を通した生の声を聴くことにより、よりリアルで現場レベルでの困り事の解決策を身近に感じることができ、大変参考になりました。

アンケートでは、データの抜き取りや収集をするには、難易度の高い技術が必要という固定概念がありましたが、ETL OCRといった"ツール"を使うことにより、高度なITスキルをもたない人たちでも課題解決に取り組んでいけることを認識することができ、大変参考になったとの声があがっていました。

全ての質問に対し、ご丁寧な対応と活発な意見交換をして頂き、感謝の声に加え、今後の業務に活かしていきたいとの意見が多くあり非常に有意義な視察会となりました。

【ディスカッション風景】

